

MINORU NEWS

東村山市議会議員 渡辺みのる活動報告



2024年度決算 日本共産党は不認定

☆物価高騰対策が不十分

東村山の物価高騰対策は、国の補助金だより。しかも、その補助金をアインPAYなど、一部の人にしか届かない施策に使ってしまいました。

☆デジタル関連には巨額の予算

24年度、デジタル関連の事業（教育関連も含む）には23億円、うち市の独自財源が16億5千万円投入されています。力の入れるところが違うと思います。

☆民間事業者に依存しすぎ

東村山市は、あまりにも行政が行うべき仕事を民間事業者に任せすぎています。市の職員が知識や経験を蓄積する機会が減り、市民の生の声を聞く機会も失われてしまいます。

☆緑地減少に歯止めをかける施策がない

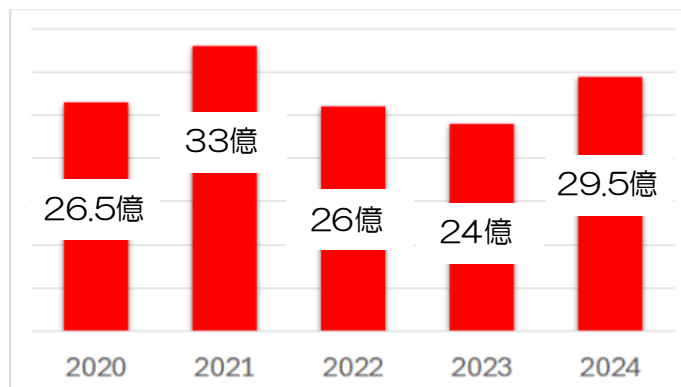
市内の緑地は20年間で半分に減少しています。気候変動対策や、市の魅力のひとつにもなっている緑地を守る施策を強力に進めてほしいです。

☆ジェンダー平等の視点が弱い

市の職員の構造的な不平等を、女性個人の能力や昇進意欲といった「自己責任」にすり替える考え方はやめてほしいです。働き方や慢性的な人手不足など、組織として解決できる課題があるはずです。

2024年度、財政運営で余った実質収支（黒字）は約29.5億円です。自治体は営利企業ではありません。お金を余らすのではなく、市民のために使ってほしいです。

東村山市の実質収支額の推移



赤旗日曜版の電子版がスタート！

10月2日から、しんぶん赤旗日曜版の電子版のサービスが開始しました。

スマホやパソコンから、いつでもしんぶん赤旗日曜版が読めるようになりました。

詳細・お申し込みは、「赤旗日曜版」で検索するか、右の2次元コードから。



議会基本条例改正 1人会派が復活

9月議会最終日、超党派で協力し議会基本条例の改正案を提案し、自民・公明以外のすべての会派・議員が賛成し、可決・成立しました。

議会基本条例は2014年に制定されて以降、一人でも会派として活動できる規定となっていました。しかし、20年に「会派は複数とすべき」という内容の陳情が、自民・公明のみの賛成により採択されたことをきっかけに、ひとりでは会派として活動できない内容

の条例に変えられました。

この間、複数の議員が政党等に所属しているにもかかわらず、議会HP等に掲載できないという不利益が生じており、解決を求めてきましたが、改善されませんでした。

これ以上、不利益を継続させないことや、市民に正確な情報を発信するために、協議を重ね条例改正を実現しました。人数によって差別されることがない民主的な議会にしていきたいです。



↓SNSはコチラから↓



＼困ったときは共産党に相談を／

生活保護は権利です。

年金が少ない、物価が上がって生活が大変など、暮らしのお困りごとがありましたらいつでもご相談ください。

年金や仕事、持ち家があっても生活保護を利用することはできます。

市役所に相談に行く際の同行も行っています。

お気軽にお電話ください。

渡辺みのるTEL:070-2177-7629

■東村山市議団法律相談

場所：東村山市役所 日本共産党控室

日時：毎月第1水曜日(月により変更有)

※要予約のため、渡辺までご連絡ください。

■しんぶん赤旗をお読み下さい！

日刊紙 月額3,497円

日曜版 月額 990円

お申込み、お問い合わせは

お気軽に渡辺みのるにご連絡ください。

～渡辺みのる子育て日誌～

あっという間に長女も高校生。自分で「行きたい」と選んだ学校ということもあり、毎日たのしく通ってる。

自転車ですぐに行き、電車に乗り学校へ。中学生まででは想像もつかなかった経験だろうと、自分のときを思い出しながら見守っている。

11月には初めての文化祭。半年間の成果を見るのが楽しみだ。

次女は5年生になり、学校のサッカーチームに入った。ずっと「やってみたい」と言っていたサッカーを始めて、サッカーの試合を見たりサッカー用品をほしがったりしている。

上手くなりたいという気持ちを尊重し、やりたいことを思いっきりさせられるように、支えていきたい。